

病気や障害があっても  
住み慣れた地域で  
その人らしく安心して  
暮らせるようにするため

平成25~29年度の  
まとめ

## 認知症に重点を置いた地域包括ケアの推進 (嶺北地域アクションプラン)

この認知症に重点を置いた地域包括ケアの推進嶺北地域アクションプランは、下記の推進協議会メンバーが協力して作成してきました。

これまで、5ヶ年毎に目標を掲げるとともに、毎年、具体的に取り組んだことや次の一年の計画等についてとりまとめたり一フレットを作成してきました。そして、平成29年度はその5ヶ年計画の最終年度でした。

今回このリーフレットでは、平成25年度から平成29年度に具体的に取り組んできたことの成果や課題、さらに今後の取り組みについてとりまとめました。

ぜひ、各団体の関係者や地域住民の皆さまにご一読のうえ、アクションプランの取り組みをご理解いただき、病気や障害があっても、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らすことのできる地域づくりに役立てていただきたいと思います。

### 日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会メンバー

- |                 |                               |                  |
|-----------------|-------------------------------|------------------|
| ● 土佐長岡郡医師会副会長   | ● 嶺北地区民生委員児童委員代表              | ● 嶺北の地域リハを考える会代表 |
| ● 公立医療機関代表      | ● 嶺北地区介護施設代表                  | ● 本山町代表          |
| ● 高知県看護協会嶺北地区代表 | ● あったかふれあいセンター受託機関代表          | ● 大豊町代表          |
| ● 高知県薬剤師会嶺北地区代表 | ● 中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会(嶺北地区)代表 | ● 土佐町代表          |
| ● 嶺北地区社会福祉協議会代表 | ● 地域のボランティア代表                 | ● 大川村代表          |

